

# 「人生、今が最高」と県民が言えるように 石川会長、RSKTV「夢紡いで」出演

放送 10月30日（月）午後11時10分

経済、政治、教育など岡山县内各界のリーダーがその思いを語るRSKのTV番組「夢紡いで」に本会の石川絃会長が出演、10月9日、県医師会館で収録が行われ、県医師会活動への熱い思いや自身の信条などについて語った。放送は同月30日（月）午後11時10分から同12分。ぜひ番組をご覧ください。

## オープニング・・・

「岡山县民の多くの方々の健康寿命を延ばしたい」

## これまで実現した夢は・・・

「何と言っても私達が昨年3月、この新しい県医師会館を竣工させたことです。それまでは旭川沿いの古京町にあった衛生会館を拠点として医師会活動しておりましたが、交通事情、駐車場等に課題がありました」

「新会館には、以前より多い県民の方々が、県民健康公開講座その他、数々のイベントに参加頂き、われわれとの触れ合いの時間をより長く持つて頂くことで、健康への関心を高め、また、実践することで一人お一人が健康な生活、健康寿命の延伸に取り組んで頂いておられると自負しております」



「県民の健康を守るのが県医師会の使命」と話す石川会長。  
左は聞き手の小林章子ディレクター

「さて、三木記念ホールと言う名称ですが、ご存じのように昭和20年代の後半から30年代にかけて、医師であり政治家として県知事を4期務められ、岡山县の保健衛生、医療の向上に多大な業績を残された、三木行治先生の名前が由来です。我々が今も医師会活動の師として仰ぐ方ですが、業績を長く後世に伝えるための顕彰ギャラリーをこのように、県の強い希望もあって設置したものです。立派でしょう！」

## 夢が実現できたのはなぜ・・・

「県民の方々とこのこれまで以上の触れ合いを持つことで、お一人でも多くの方々に、心身ともに健康な生活を送って頂きたい思いと、触れ合いの場としての、県医師会館新築への行動が時期的に合致した結果です」

## 信条は・・・

「人生、何時だって今が最高！今日よりも、もっと幸せな明日が待っている。県民の皆様全てがそのような気持ちをもって毎日を暮らして欲しい。それには一生を通じての健康、とりわけ高齢者にとっては健康寿命の延伸が必須です。保健・医療面からそれらを支えていくのが、医師会員の使命でしょう」

「今、医師会は、皆様方も最近頻りに耳にされている地域医療包括ケアシステムの構築に邁進しております。在宅医療や介護を受けられている患者さん、小児で在宅医療を受けている子どもさん、さらには、増加傾向にある認知症患者さんへの対応を医師のみでなく、訪問看護師さん他、医療関連団体の皆様方と研修会を開いたり、実践トレーニングなど医師会館を拠点にエスカレートさせ、期待に応える努力をしています」

## エンディング・・・

「県民の皆様、先程の箴言『人生は、何時だって今が最高』の暮らしをいつまでも続けられるよう、心身の健康面でお役に立つよう、日々医師会業務にいそしんで参りたい」

なお、RSKホームページ「夢紡いで」では  
放送しきれなかったインタビュー部分も掲載されています。  
こちらも併せてご覧ください。

<http://www.rsk.co.jp/tv/yume/>